浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案 [地域経営主体]

Science Arts Park 構想

「融合×学び×自走」のまちづくり



Our Team

チーム紹介

わたしたちは、宮城県仙台市に拠点を置く建築設計事務所です。 それぞれに強みを持つわたしたちが協働することにより、多方面からの提案を可能とします。

株式会社 関・空間設計

関・空間設計は双葉郡に多くの実績を有する設計事務所です

岡設計時代から60余年、独立して28年、「Spirit Of Place」~その場に"かけがえのない建築"を創り続けてゆくこと~を理念とし、その場所(Place)の持つ歴史や風土、文化、人・・・土地固有の精神(Spirit)を継承し、対話を通じて、共感を呼ぶ建築を育み、社会に貢献することを社是として設計活動をしています。

●双葉郡の実績

- ・道の駅なみえ+なみえの技・なりわい館
- •双葉町役場庁舎
- ・双葉町産業交流センター「F-BICC」
- •大熊町産業交流施設
- •大熊町商業施設
- ・広野こども園「ひろぱーく」



株式会社 都市設計

都市設計はまちづくりに特色を持つ 設計事務所です

創立から49年、東日本大震災を経て**都市計画・まちづ くり部門**を立ち上げました。「設計は決められた四角の中でその場にベストな提案をする仕事~都市計画はその四角を無限につなげていく仕事~まちづくりはその場の人と人をつなげ新しい場を作っていく仕事~」と考えます。仙台市でこの二部門を有する唯一の会社として「まちをつくる川上から川下まで」を担っています。

●主な実績

- ・山形県長井市「賑わい創出事業」
- •仙台市定禅寺通活性化事業
- ・多賀城市中央公園 スケートボードパーク設計業務 その他、東北地域や東京都丸の内などに 多くのまちづくり事例があります。





Collaboration

わたしたちがCollaborationすることよる効果





浪江の町を第三者の立場から客観的視点でサポート





同じ東日本大震災の被害を受けた隣人の視点



双葉郡・浜通りでの設計実績から地域文化を共有する寄り添った提案





まちづくり・ひとおこし・ワークショップによる意見の吸い上げと対話

わたしたちのCollaboration実績

『**宮城県美里町新中学校**』(PFI事業~進行中)

小牛田駅東側に、町の中学校全3校を統合するPFI事業に取り組んでいます。 本プロジェクトの特徴は、通常の設計・建設・維持管理に加え「地域活性化」業務 が含まれていることです。わたしたちは本事業の設計・工事監理業務に加え、 代表企業の大和リース様とともに、敷地周辺のみならず町全体の活性化を 考える美里町の伴走者として、地域活性化へ向けたまちづくりに取り組んでいます。



美里町新中学校

RC造4階建 延面積10,156㎡ R7年2月竣工予定 地域活性化業務期間 R4年度~R21年度

Vision

浪江町のニーズと課題

- 戻りたいと思える、町をつくる
- 町民・F-REI関係移住者・来訪する国内外のすべての人が、 共存できる環境整備
- 浜通り・福島県の広域連携による産業 振興・雇用創出・復興推進
- ●復興リーダーの育成
- 浪江らしさの確立・継承

(浪江町・アイデア募集要項より抽出)



Current Situation Analysis

現状分析①(社会)

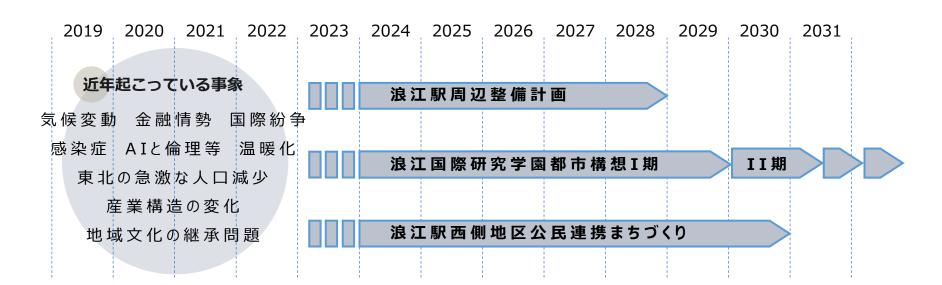
長期事業の見通しを立てづらいVUCA時代の継続

VUCAとは

Volatility(変動性) \rightarrow 変化のスピードが想像以上に早く、未来の予測が難しい **Uncertainty(不確実性** \rightarrow 「何が起きるのか?」の予測が難しい **Complexity(複雑性)** \rightarrow さまざまなできごとやモノが複雑に絡み合っていること **Ambiguity(曖昧性)** \rightarrow できごとの因果関係や解決策がはっきりせず、説明できない

参考:朝日新聞SDGs ACTION https://www.asahi.com/sdgs/

→計画の途中で社会情勢が大きく変わるかもしれない



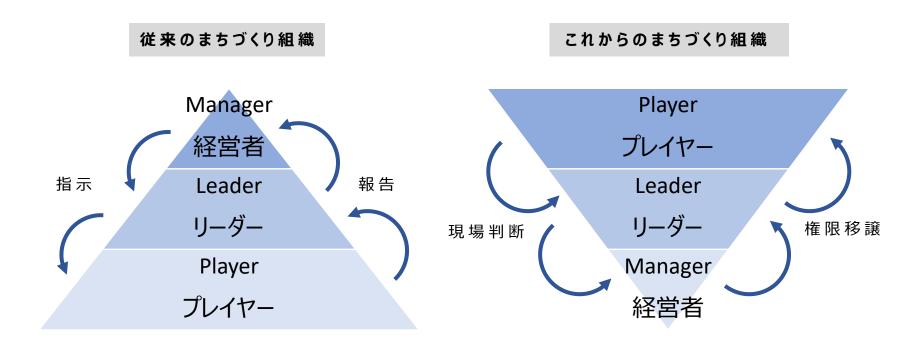
Current Situation Analysis

現状分析①(社会)

VUCA時代のまちづくりに必要なこと

- ① 立場によらず局面に応じた判断力のあるまちづくりプレイヤーがたくさん必要
- ②理論化された教育を受けるのではなく、体験・経験に重きを置いた能動的な「学び」が重要
- ③プレイヤーは互いの違いを尊重し、認めあえる
- ④ 状況に応じて都度、軌道修正を行なうことができる

→リーダーよりもプレイヤー、理論よりも五感、規則よりも多様、指示待ちよりも自律

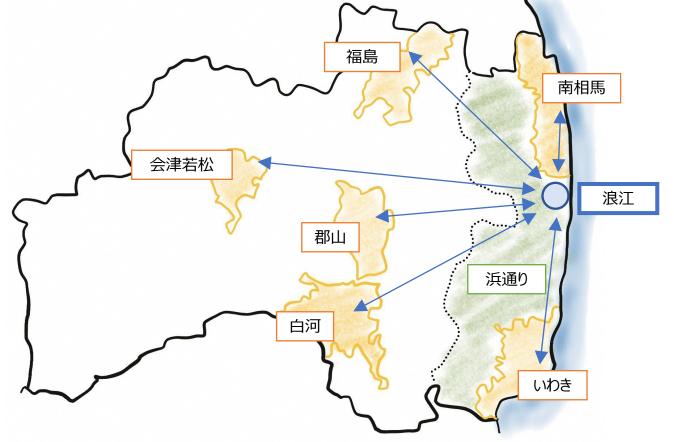


Current Situation Analysis

現状分析②(地域)

福島県→機能が一極集中ではなく、同程度の規模の都市圏が共存しており、それぞれの地域で 異なる文化・特色がみられる。VUCA時代に強い「自律分散型組織」となりうる 浜通り→震災と復興の経験から各地域の結びつきが強まりつつある 浪江町→南相馬といわきの中央に位置しており、復興の中枢となりうる地域である

→浪江町は福島の各都市圏の個性を客観的に捉えられる好ポジション



福島県10万人以上の都市圏の位置

Solution

課題解決のコンセプト

「融合×学び×自走」の流れを浪江に作り、課題解決+ニーズを満たす

〈方針〉

- ・F-REIが計画され、自律分散の様相を呈す福島にある浪江のポテンシャルを生かした体験拠点を構想
- ・拠点を活用した人材育成環境を整え、VUCAの時代に適応できるまちづくりプレイヤーを発掘
- ・五感の磨かれたまちづくりプレイヤーたちの活動を支援して、都度修正できるまちづくりを行なっていく





実現手法2



コミュニティーを利用した学びの場 まちづくり人材の育成

Development Cycle

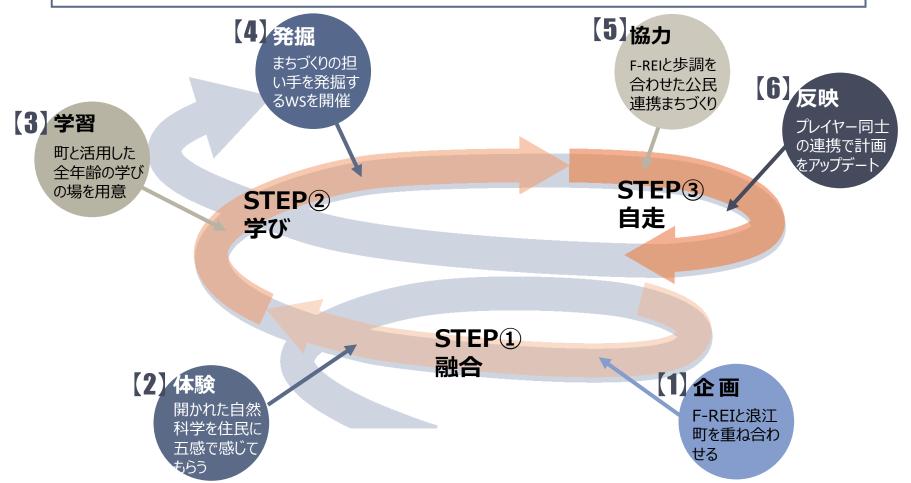
不確実性の時代に適応できるまちづくりのサイクル

STEP①~③を繰り返してまちづくりが継続していく

[STEP①]F-REIと浪江町の魅力を融合した体験拠点で、研究者の理論を五感で感じてもらう

[STEP②]浪江の町と体験拠点を活用した学びの場とワークショップにより、まちづくりプレイヤーを発掘

[STEP③]プレイヤー同士が連携しながら自走して社会の変化に対応したまちづくりが続く



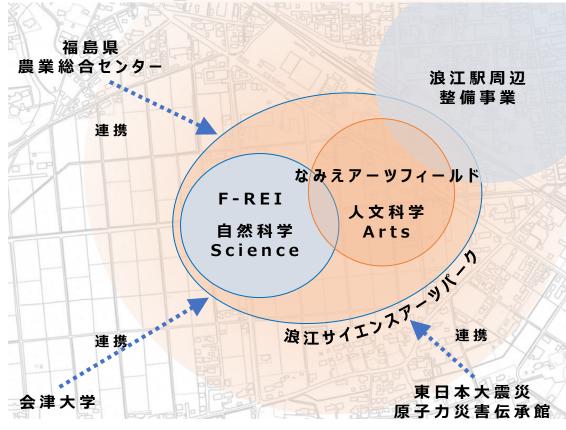
Experience Base

「サイエンスを開く」融合型体験拠点

サイエンスを町に根付かせるアーツ(Arts)

福島国際研究教育機構 (F-REI)のサイエンス(自然科学)を町に開いた体験 拠点を提案する。

- サイエンスを**理屈ではなく、感性を通して理解してもらう**ため住民に身近な暮らしや町の要素と融合した体験が行えるパークをつくる
- これらのサイエンスと人々の理解を結び つけるものをアーツ (Arts) と定義 する。
- 科学、そしてF-REI研究者を通して異文化に対する理解を高めることで、F-REIを始め、福島県に存在する数多くのサイエンス系研究施設との連携も容易になる。
- **互いの個性を認め受容する風土**が、自 律分散型の福島における浪江のアイデ ンティティになる。



アーツ (Arts) とは→サイエンス (Science) 以外のものすべて

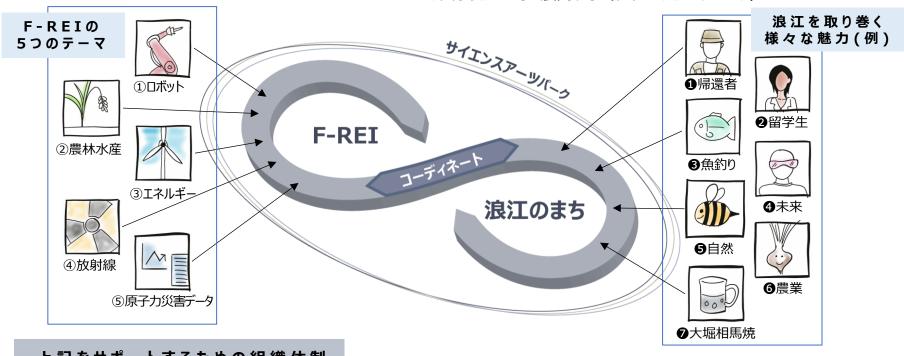
単なるアートではなく、人文科学分野すべてをArts(アーツ) と総称する。食事や子育てもArtsである。F-REIの自然科学を応用した人文科学分野的なものの集積地としてArtsFieldを展開する。町で暮らす人々の暮らしや町の歴史や特産物とF-REIの科学技術を掛け合わせた体験拠点を浪江駅西側地区にちりばめる。ScienceとArtsが融合しながら、アーツを通じてF-REI等の自然科学を町に開き、浪江町の住民、訪問者、移住者(帰還者)の経験に繋げていく。



Science&Arts

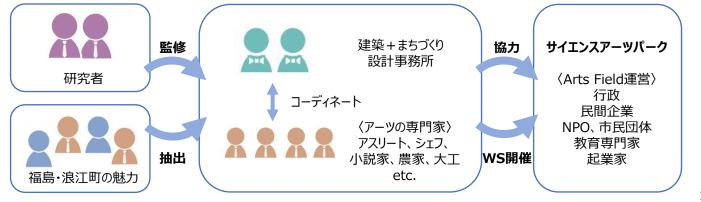
ScienceとArtsの融合方法

F-REIの自然科学を浪江の町民や特産品、歴史などの魅力と結び付けて ArtsFieldを牛み出し浪汀の町に展開する(サイエンスアーツパーク)。



上記をサポートするための組織体制

わたしたち建築・まちづくり 設計事務所はこれまでの 業務で培ったネットワーク からサイエンスアーツを生 み出せる各専門家(小 説家、シェフ、etc)をコー ディネートする。



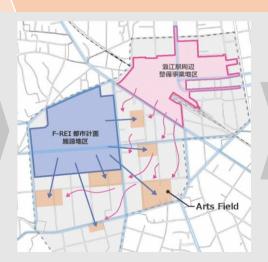
Urban Planning

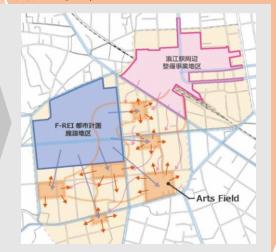
都市機能の融合

現状の浪江町は、**浪江駅周辺整備事業地区**とF-REI都市計画施設地区が、それぞれで完結している。

サイエンスとアーツの融合地点となる ArtsFieldを、本計画の対象地域に 配置する。各地区の機能・人々の 活動が町全体にしみ出していく。 ArtsFieldを結ぶソフトな動線を整備し、各点の繋がりを生みだす。各点の活動を通して、まちづくり人材の育成と学びの発信をすることで、ArtsFieldから町へ融合の和が広がっていく。



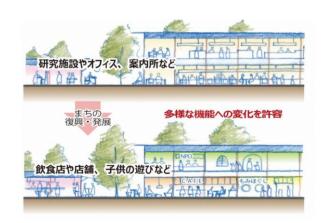




自走するまちづくり

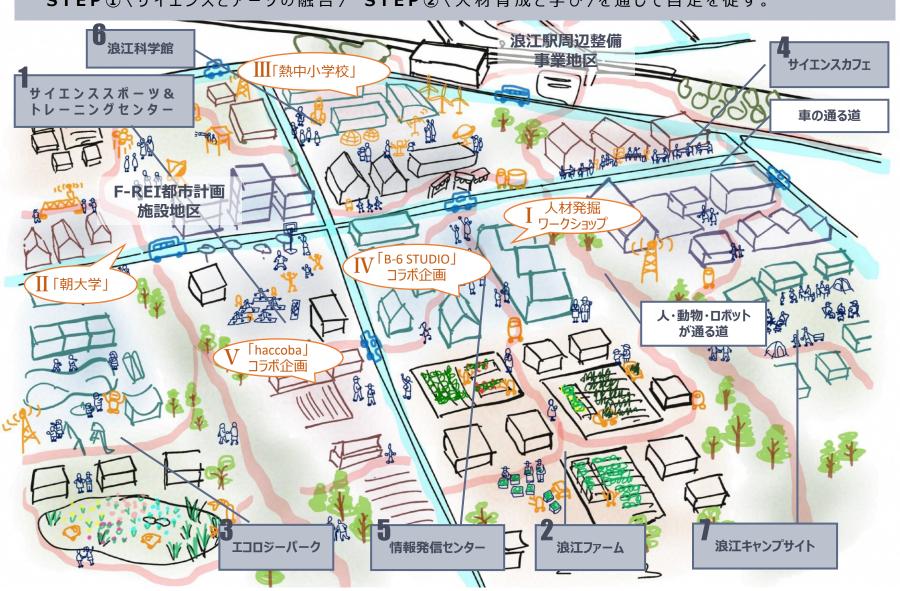
不確実性(VUCA)の中でのまちづくりは、多くの課題や問題に直面する。 変化に対応し持続的に融合を生むためには、フィードバックとアップデートを繰り 返し、**変化を許容したまちづくり**が必要となる。

建物は「柔軟性・更新性・機能性」を備えた計画により、将来の用途変更に 柔軟に対応する。



Arts Field Image

「サイエンスを町に開く」をキーワードに、F-REIの自然科学と浪江の魅力を結び付けるArtsField。 STEP①〈サイエンスとアーツの融合〉 STEP②〈人材育成と学び〉を通して自走を促す。



Facility Proposal

STEP① ScienceとArtsの融合するArts Fieldの提案

F-REI 5つのテーマ▼ + ▼Artsの要素

① + 遊び,スポーツ,健康

サイエンススポーツ&トレーニングセンター

ロボットや最新システムを利用したスポーツ施設。サッカーやバスケット ボールなどのスポーツでロボットと対戦出来たり、放射線治療を応用し たヨガやパーソナルトレーニングが行える。





https://wired.jp/article/toyota-cue-basketball-robot-vs-lethal-shooter/ https://yogajournal.jp/9077

② ③ + 遊び, 学び, 自然, エコロジー

エコロジーパーク

震災後取り組まれているフラワープロ ジェクトの浪江の花を使った庭園や、 子供たちの遊ぶ振動で発電する発電 床システムなど、学び・遊べる公園。



① ⑤ +情報発信、学び

浪江科学館

F-REIで行われる研究の情報発信や体 験学習の場。福島第一原発で活動す るロボットや災害時に活躍するロボットの 遠隔操作の体験が行える施設。



https://webmagazine.nedo.go.jp/practicalrealization/articles/201206it_chiba/

浪江ファーム

農業の研究施設と兼用したレンタルファーム。規 模の小さな兼業農家を始める人のための学びの 場(マイクロファーマーズスクール)なども開催しな がら、農業の研究開発を通して交流を生む。



② + 農業,学び

② ⑤ + 食,農業,情報発信

サイエンスカフェ

浪江で生産された食材はもちろん、浪江 ファームで取れた野菜を使った飲食店。 F-REI研究者の出張授業を聞きながら、 食に関するWSの開催も行う。



③ 5 + デザイン、情報発信

浪江の生活を手助けするコミュニティーセン ター。建物内はセラミックとカーボンを複合し た新素材タイルを使ったエコロジカルな施設。



④ 5 + アクティビティ

浪 江 キャンプサイト

防災核シェルターを利用 したキャンプ宿泊施設。





https://www.furusatotax.ip/product/detail/08207/5345029

情報発信センター

Town Management & Community

STEP② 浪江の魅力を生かした人材育成と学びの場の提案

浪江の過去と未来を人でつなぐ個のまちづくり

それぞれの個人や小さい集まりの「実験」から始まるソフトの力として、 浪江町の住民、子育て世代、飲食店関係者、まちづくりキーマン、 農業従事者、「ターン・Uターンの移住者、関係人口など、各セクターの プレイヤー同士のコミュニティをリアル&オンラインで作り上げアクションにつなげながら、 未来の大きなまちづくりにつなげる仕掛けを作る。

例)都市設計が関わった「山形県長井市にぎわいと街並みづくり事業」

「住んでいてよかった」街を作る社会人大学コミュニティ

多世代をつなぎながら、大人になっても人生を豊かにする学びを続けたい。 そんな人たちが増えてきている。

大人たちが「もう一度7歳の目で学びを行う場」、「仕事の合間を見て他分野を学ぶ」など、学びからアクションを起こす場となるコミュニティをつくる。

例)都市設計が関わった「熱中小学校」「丸の内朝大学」

クリエイティブな発信をサポート

例えば、すでに浪江町に芽生えているクリエイティブな場「B-6 STUDIO」や 浪江醸造所「haccoba」などの既存プレイヤーとコラボしたり、 人材発掘ワークショップで生まれた新規企業者などのサポートを積極的に行う。 浪江を知る・体験する 活動を通して行う 人材発掘ワークショップ



出勤前の学びの場「朝大学」 農業や料理、子育てなど、 分野の異なる専門家どうしで 学びを行う



「もういちど7歳の目で世界を・・・」 学びたい大人のための 「熱中小学校1



W

クリエイター、まちづくりプレイヤー たちが集う「B-6 STUDIO」 **コラボ企画**





CRAFT SAKE「haccoba」 コラボ企画



